



2024年10月15日

各 位

会 社 名 エコモット株式会社
代表者名 代表取締役 入澤 拓也
(コード：3987、東証グロース、札証アンビシャス)
問合せ先 取締役経営管理本部長 武田 研輔
(TEL. 011-558-2211)

2024年8月期（連結・個別）通期業績予想と実績の差異及び特別損失計上に関するお知らせ

2023年10月13日に公表いたしました2024年8月期（連結・個別）の通期業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。また、2024年8月期におきまして、特別損失を計上しましたので併せてお知らせいたします。

記

1. 業績予想の実績の差異

(1) 2024年8月期 通期連結業績予想と実績の差異（2023年9月1日～2024年8月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり連結当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	3,045	69	72	46	8.95
今回実績値 (B)	2,692	7	23	△69	△13.13
増減額 (B-A)	△353	△62	△49	△115	△22.08
増減率 (%)	△11.59	△89.85	△68.05	—	—
(参考) 前期連結実績 (2023年8月期)	2,715	△93	△83	△174	△33.62

(2) 2024年8月期 通期個別業績予想と実績の差異（2023年9月1日～2024年8月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,567	31	21	4.08
今回実績値 (B)	1,404	15	△18	△3.48
増減額 (B-A)	△163	△16	△39	△7.56
増減率 (%)	△10.40	△51.61	—	—
(参考) 前期個別実績 (2023年8月期)	2,040	△63	△143	△27.57

2. 差異が生じた理由

2024年8月期通期の業績予想につきましては、IoT ビジネスソリューションにおいて主力チャンネルであるKDDI株式会社との連携強化や積水樹脂株式会社との共同開発、主力ソリューションである「ゆりもつと」の導入は堅調に推移したものの、EV 普及率やEVに係るインフラ整備が足踏み傾向にありEV 充電スタンドの端末販売が想定より伸長しなかったこと及びモビリティサービスが競合他社との競争激化により想定より伸長しなかったことが要因で売上高が計画未達となりました。

IoT パワードにおいては連結子会社の株式会社パワーでんきイノベーションによる主に au リニューアブルエナジー株式会社向けの太陽光設備の工事は順調に推移したものの、その他の案件において予想していた利益率の確保が難しい案件が多く、今後の利益面の確保についての施策に課題を残しました。

更に減損会計適用により有形固定資産に計上されております土地に係る特別損失 47 百万円、及び投資有価証券に計上されておりますティ・アイ・エル株式会社の株式評価に係る特別損失 26 百万円を計上いたしました。

上記により、連結及び個別ともに売上高が計画を下回り、それに伴い営業利益、経常利益が計画を下回る結果となり、また、特別損失の計上により当期純利益におきましても計画を大きく下回る結果となりました。

2025年8月期通期の業績予想につきましては、IoT ビジネスソリューションにおいては引き続き主力チャンネルであるKDDI株式会社との連携強化や積水樹脂株式会社との共同開発による案件獲得を見込めること、コンストラクションソリューションにおいては、生産性向上AI カメラ「PROLICA」をはじめとするAI 活用案件の拡大、建設現場における不感地帯でのStarlink 活用強化、またIoT パワードにおいては引き続き au リニューアブルエナジー株式会社向けの太陽光設備の工事を推進し、利益率向上に向けた社内体制整備に取り組んでまいります。

以 上